

当会賛助会員の北海道電力（株）（札幌市）が、平成30年11月23日(金)付の、日刊工業新聞に紹介されました。

IoTで家電操作・見守り

北海道電 家庭向けサービス

【札幌】北海道電力は22日、IoT（モノのインターネット）や人工知能（AI）を活用した家庭向けサービス「エネモLIFE」を始めるを発表した。電気使用量の見える化や外出先からの空調・照明などの遠隔操作、人の見守りなどを実施。顧客の省エネや安心・安全の確保、快適な暮らしにつながるサービスを提供する。

LNG火力発電 試運転出力100%

【札幌】北海道電力は22日、同社初となるLNG火力発電所、石狩湾新港発電所1号機（北海道小樽市、出力56万9400キロワット）が21日18時33分、総合試運転で発電出力100%に到達したと発表した。

今後、出力100%での試験や、出力を変化させる試験など各種試験・検査を実施する。2019年2月に営業運転を開始する予定。



浜市港北区）と共同で始めた。専用端末を持った人の位置情報や移動履歴をスマートフォンで把握できる。AIがよく行く場所を学習し、帰宅などの情報を自動的に通知する。また空調や照明、家電製品などをIoTで制御する「ホームIoTサービス」について、2019年1月から7月までモニター実証を行う。エネルギーの見える化や外出先からの空調・照明などの遠隔操作が可能。早ければ実証後にもサービスの提供を始める。

スマホを使って空調を遠隔操作（ホームIoTサービスのみ）